

観客数:681	開始時間:14:00	終了時間:15:42	試合時間:1:42	主審:原 啓之	副審:戸川 太輔
---------	------------	------------	-----------	---------	----------

ヴィクトリーナ姫路



監督：竹下 佳江
 コーチ：中谷 宏大
 通算：2勝0敗
 ポイント：6

3	31	第1セット (0:38)	29	0
	25	第2セット (0:27)	18	
	25	第3セット (0:31)	20	
		第4セット []		
		第5セット []		

ポイント 【】内はセット時間 ポイント
 3 ()内は交代選手 0

群馬銀行グリーンウイングス



監督：石原 昭久
 コーチ：須崎 杏
 通算：0勝2敗
 ポイント：0

<監督コメント>

2日間たくさんのご声援ありがとうございました。
 非常に厳しい戦いの中で、選手たちがよく勝ち切ってくれたと思います。
 “何としてもV1残留”から、来シーズンはさらに力をつけてV1のステージでよい戦いができるように頑張りたいと思います。

<監督コメント>

昨日の悔しい敗戦を糧に第1セットから相手のレフトに対しディフェンス陣が頑張り、終盤までタイトなゲームを維持できたが、「ここの一番」というところでボールが乱れ、悔しい形でセットを落としてしまった。
 第2セット以降も相手の圧倒的な攻撃力や守備力に負けたというより、大事な場面での「ワンプレーの精度」によって点数を取り損なう結果となってしまった。
 シーズンを通して培ってきたブロック力や攻撃力は、ある程度V1でも通用するという事を感じた2試合であった。
 来シーズンは「この経験」を基準として、さらにチーム力を上げられるよう頑張りたい。最後にシーズンを通し、たくさんの方の応援ありがとうございました。

31	松本	イブナ (清田)	第1 セット	新井	古市 (斉藤)	29
	吉岡	佐々木		鈴木 (坂本)	安福	
	堀込 (田中)	貞包 (高橋)		寺坂 (栗田)	小林	

リベロ：溝口 リベロ：吉岡

25	松本	イブナ (清田)	第2 セット	鈴木	新井	18
	吉岡	佐々木		寺坂 (栗田)	古市 (愛宕)	
	堀込 (田中)	貞包		小林 (坂本)	安福	

リベロ：溝口 リベロ：吉岡

25	松本	イブナ (清田)	第3 セット	新井	栗田	20
	吉岡	佐々木		鈴木	安福	
	堀込 (田中)	貞包 (高橋)		寺坂 (斉藤)	小林 (伊藤)	

リベロ：溝口 リベロ：吉岡

第4 セット						

リベロ： リベロ：

第5 セット						

リベロ： リベロ：

<要約レポート>

第1戦でストレート勝利をしたヴィクトリーナ姫路と、昇格には1セットも落とせない群馬銀行グリーンウイングスのV・チャレンジマッチ第2戦。
 第1セット、序盤から両チームとも攻撃陣が躍動し白熱の戦い。群馬銀行は小林、吉岡の好レシーブや鈴木ブロックが決まり、リードする。中盤も一進一退の攻防が続いたが、姫路は田中の活躍で流れを引き戻す。終盤、群馬銀行が堅い守りから反撃を見せ、鈴木、小林の攻撃の活躍で追い上げる。接戦が続くも、最後はイブナ、佐々木の連続ブロックポイントで姫路が接戦を制し、残留を決めた。
 第2セット序盤、群馬銀行は寺坂の活躍とセッター古市の巧みなトス回しで安福、鈴木が要所を攻め切り、リードする。中盤からは、姫路がイブナのブロックから流れをつかみ、リードを取り返す。終盤、姫路は田中の連続得点からリードを守り、セッター堀込の速い展開からの攻撃でセットを奪取した。
 第3セット、両チームとも一歩の譲らない展開から、姫路は貞包、イブナがアタックを決め、リードを奪う。逃げ切りた姫路は松本のアタック、佐々木のブロックで連続得点し、引き離す。終盤、粘る群馬銀行を前に姫路は田中のアタックでリードを守り、リベロ溝口の好レシーブから松本がアタックを決め、ストレートで姫路が勝利した。

作成者：岡本 幸治